

大地震の発生に備える



近年、世界各地で大きな地震が起きています。一昨年の「新潟県中越地震」や「スマトラ沖大地震」、昨年の「福岡県西方沖地震」など、地震や津波などによる大きな被害が発生しています。宮城県でも平成15年に発生した「三陸南地震」や「宮城県北部連続地震」などは記憶に新しいところです。近い将来、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震「いざ」というときに備え、正しい行動が取れるよう、防災に関する行事には積極的に参加しましょう。

記憶に新しい大規模地震

6月12日は県民防災の日です。今から28年前の昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震では、市内にも大きな被害がありました。当時の記憶が薄れつつある中、平成15年5月26日の三陸南地震、同年7月26日の宮城県北部連続地震は、地震災害の恐ろしさをあらためて認識させられました。

地震が発生したときの行動

地震が起きたときに一番大切なのは、自分や家族の身を守ることです。慌てて屋外に飛び出さず、次の行動を取るよう心掛けましょう。

【地震発生時の行動】

- 素早くガスコンロやストーブなどの火を消す
- 窓や戸を開け避難口を確保する
- ガラスの破片や頭上からの落下物に注意する
- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀には近寄らない
- ロックの扉には近寄らない
- 揺れが収まってから市の指定避難場所や広場、公園、駐車場などに避難する
- 避難する場合は電気やブレーカーをおろし、ガスの元栓を止める
- 防災無線やラジオで正しい情報を入手する
- 家族や近隣の人の安全を確認する

特に午後6時24分ごろに発生した三陸南地震は、気仙沼沖約20㎞、深さ約70㍍を震源とするマグニチュード7・0、震度6弱というもので、宮城県沖地震とほぼ同じ規模のものでした。

この地震では、大きな人的被害はなかったものの配水管の破損、壁の亀裂や一般住宅のブロック塀損壊、墓石の倒伏など、各地で多くの被害が発生しました。

発生した時間帯が夕食の支度時間に重なっていたにもかかわらず、幸いにも火災などの二次災害は発生しませんでした。これは、宮城県沖地震を教訓とした「地震のときは火を消すこと」の防災意識が浸透してきたからだと推測できます。



被災したときに欠かせないもの

被災したときには、次のようなものが欠かせません。いざというときのために、普段から準備しておきましょう。

【非常持ち出し品】

避難するときに持ち出す必需品は、あまり欲張りすぎず最小限にすることがポイントです。男性で15日、女性なら10日程度を目安として、リュックサックなどに、まとめておきましょう。

● 非常用食品（缶詰・乾パン・ビスケットなど調理不要なもの）

● 飲料水

● 携帯ラジオ（予備の乾電池）

● 懐中電灯・ろうそく

● ライター・マッチ

● 救急医薬品・常用薬・生理用品

● 日用品（洗面用具・ティッシュペーパー・せっけんなど）

● 毛布・シート

● 衣類・雨具・軍手

● ハンカチ・タオル

● ヘルメット（防災ずきん）

● ナイフ・缶切り・栓抜き

● ビニール袋・ビニールシート

● 文房具（メモ帳・ペン）

● 貴重品（印鑑・預金通帳・

● 保険証・免許証・現金）

【非常備用品】

災害復旧までの数日間を支えるもので、一人最低でも3日分、できれば5日分を用意しましょう。被害を受けにくく、外から取り出しやすい場所にまとめておくことが大切です。

● 食料品（米・レトルトパッパ食品・カップ麺・梅干し・調味料・菓子類）

● 飲料水（一人1日3㍓が目安。日ごろからこまめに取り替えましょう）

● 固形燃料か卓上コンロ（ガスボンベは多めに用意）

災害から家族や地域を守るために

防災についての知識や災害に対する備えは、それを現場で生かす力があって初めて役に立ちます。災害から家族や地域を守るためには、適切な防災行動を身につけておくことが大切です。特に防災訓練などを通して、自分の体で覚えたことは、災害時の大きな力になります。

「いざ」というときに備え、正しい行動が取れるよう、防災に関する行事には積極的に参加し、「防災」を身近なものにしましょう。

総合防災訓練を実施します

市では、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震に備え、総合防災訓練を実施します。主会場を中心に各地区の会場でさまざまな訓練を実施しますので、いざというときのために積極的に参加しましょう。なお、訓練に参加できない家庭においては、午前9時の防災無線放送を合図に、地震が発生したときに一番大切な身の安全確保や火の始末などを行う「一分間行動訓練」を実施してください。

【日時】 6月11日（日）午前9時から11時30分まで
【場所】 ■主会場 豊里多目的広場
 ■サブ会場

地区	会場	地区	会場
登米	登米総合運動公園	石越	石越防災センター
東和	東和総合運動公園多目的グラウンド	南方	南方総合運動場
中田	上沼小学校	津山	柳津入沢地区

迫地区は6月18日長沼フットピア公園、米山地区は6月25日米山中学校で実施

【内容】 災害情報広報訓練、安全確保（一分間行動）訓練、通信運用訓練、初期消火訓練、倒壊建物救出・救護訓練、応急手当訓練など
【問い合わせ】 総務部防災課 ☎0220（22）2130



災害用伝言ダイヤル 171

地震や大雨などの災害発生時には、特定地域への電話連絡の殺到が予想されます。災害用伝言ダイヤルは、被災地への電話がかかりにくい状態になったときでも、被災地内の家族、親せき、知人などに安否の確認や緊急連絡を取れるようになります。

※音声案内に従って使用してください。伝言を吹き込む・伝言を聞くことができます。

